

オホーツク管内・学校図書館活性化推進事業報告書

学校図書館の効果的な活用に向けて

平成26年 7月11日（金） オホーツク

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的とした学校図書館活性化事業を7月11日（金）にオホーツク合同庁舎と網走市立第三中学校を会場に開催しました。

管内の各市町村から学校関係者や公立図書館職員など57名が参加し、子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館の一層の充実について、講話や実践発表、ワークショップ等を通じて、学校図書館の一層の活性化について研修を深めました。

【講話】読書習慣の定着に向けた学校図書館と公立図書館の連携の在り方について

全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 大久保 雅人 氏

○学校図書館の活用は、知識基盤社会で求められるキーコンピテンシー（主要能力）である「何をどのように活用するか」という力の育成につながるものである。

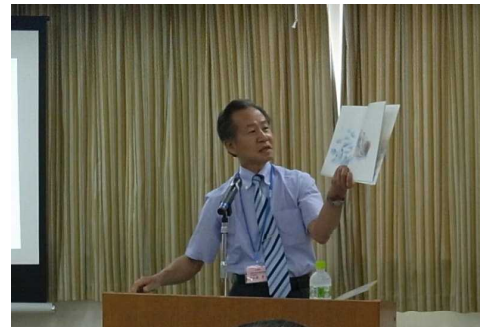
○言語活動の充実に向けた方策のひとつとして、学校図書館の活用が挙げられるが、方法論ではなく、何のために学校図書館を活用するのかという目的を明確にする必要がある。

○ただ読書をしなさい（インプット）ということではなく、得られた知識を他者に伝えること（アウトプット）を意識しないとインプットはできない。そのため、学校図書館の学習・情報・読書センター的機能を意識した指導を行い、子どもに読書が役に立つと実感させなければならない。

○人の行動を統制する力であるEQ（心の知能指数）を高めるためには読書が欠かせない。

○学校図書館を活性化するためには、担当職員だけでなく管理職も含めた学校全体で取り組む必要があり、例えば、読書を研究対象とするなどの工夫が考えられる。

○学校と公立図書館の連携を「読書環境の整備」という視点だけで進めると、継続した取組となりにくい面もある。「地域」という大きな視点で進めれば、学校図書館、公立図書館という垣根もなくなり、継続した取組とすることができる。



【事例発表①】学校図書館の改善の取組について

網走市立網走小学校教諭 林 理沙 氏

○以前は、朝読書などの取組はされていたが、学校図書館を積極的に活用しようという教員の意識は低く、図書館の書架には古い本が数多くあり暗い雰囲気だった。

○学校図書館の改善に向け、①十進分類法による配置、②テーブルなどの配置換え、③授業での積極的な活用の3点を改善のポイントとした。

○昨年度は、道立図書館の学校図書館環境改善事業により図書館司書からのアドバイスを受けられることになり、古い本の除架や本の紹介コーナーの設置などを全教員で行った。

○その結果、多くの児童が図書館に足を運ぶようになり、時間が経つにつれ、新しい本だけでなく古い本も貸し出されるようになった。

○図書館の担当者だけでなく、ブックスタンドづくりなど具体的な作業を学校全体で取り組むことで、課題を共有することができ、より取組を広めることができた。



【事例発表②】学校図書館巡回司書の視点から学校との連携に必要なこと

紋別市立図書館嘱託職員（司書） 下村 巖美 氏

○紋別市では、昨年度から学校図書館巡回司書制度を開始し、週に1回、司書が各学校を訪問し、新着図書の見学コーナーの設置や本の修復など、図書館業務の補助を行っている。

○借りた本を元の位置に戻すという習慣と定着させるため、図書館内の本をしっかりと分類し直したり、図書館の使い方をクイズにしたりすることで、正しい使い方が徐々に定着するなど、取組の成果がみられる。

○今後は、言葉遊びや動物に関するテーマで展示コーナーを設置するなど、児童の興味・関心に応じた取組を進めていきたい。



【ワークショップ】“子どもが集まる”学校図書館の環境づくり

道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹 桑原 裕子 氏

○子どもが集まるような図書館に向けたリニューアルのポイントは、①図書の更新、②ディスプレイ、③表示装飾、④レイアウトの4点である。

○図書の更新については、全国学校図書館協議会が示している学校図書館図書廃棄規準などを参考に、定期的に点検を行い、内容が古い本は除架（書棚から取り除く）する必要がある。

○除架して空いたスペースを使って、読ませたい本を表紙を見せるようにしてディスプレイするなどの工夫をすることが大切である。

○図書館の入り口や掲示板も、図書館の開館時間を明確に表示したり、学年ごとの読書冊数を掲示物で示すなどの工夫をする。

○子どもが本を手に取りやすいよう、一番上の棚には本を置かないようにしたり、ソファや絨毯を設置し、リラックスして読書できる環境をつくったりするなどの工夫も考えられる。



こんな状況はありませんか？



西ドイツやザイールが今もあると思われると困るなあ…



そのままにせず、思い切って廃棄するか、歴史的資料としての活用を！



背表紙が日に焼けて、読みにくくなってる…



カバーを取って、日焼けしていない背表紙を出しましょう！

参加者の感想

■講座について

●資料以外のからの別な話題も多かったのが良かった。 ●教育に関することでも、いろいろとヒントをいただいた。 ●話が大変面白く、説得力があった。具体例を多く出してくれたので分かりやすい。 ●いろいろな情報が得られた。 ●今求められている課題を知ることができ、勉強になりました。 ●資料を学校全体で共有したい。 ●とても勉強になりました。学校図書館のあり方をもう一度見直したいと思えます。情報を活用する力の育成には、学校図書館の活用が欠かせないことがよく分かりました。

■事例発表について

●学校図書館の変革の大切さが理解できた。 ●図書室改善、本校でも取り組みたい。 ●学校に持ち帰って実践してみたいと思った。 ●改善の過程があり、他の教員方への働きかけも話していただいたので、とてもためになった。 ●各校の様子、地域の様子が分かり、私もやってみよう！と元気が出ました。 ●学校と地域の公共図書館の実態を知ることができてよかった。 ●学校の変容が予想以上で、感動してしまいました。 ●本校の問題点と類似していることもあり、実践につなげて行きたいと思った。

■ワークショップについて

●これから取り組まなければならないことなので、とても参考になりました。 ●こんなに図書室が変わるのかと、驚きを与えられました。 ●実践できそうなものがたくさんあり、学校に帰ったらやってみたいと思います。 ●他の学校の実態など、情報を交流する時間がもてて良かった。 ●学校の図書館の状況が分かり、町の図書館職員として参考になりました。 ●他の学校、職種の方と交流できて楽しかったです。これからも学校と公共図書館との交流を大切にしていきたい。